



あゆみ

No. 174

令和 5年12月19日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
施設の旬の話題を「レイザンTOPIX」にて更新中です。



『生活介護チェックリスト』

施設長 飽田 一夫

令和五年があつという間に終わろうとしていきます。そう感じるのは私だけでしょいか。年の瀬になるといつも「少年老いや早く学成り難し」という言葉を思い出します。今年一年何か一つでも成すことが出来たでしょうかと自問してしまいます。皆様は如何でしょうか。

さて苓山寮、第二苓山寮では令和元年から生活介護チェックリストを全職員にとってそれを集計し、支援の向上に活かそうとしています。今年で五年目になります。このチェックリストは大きな十項目からなり、それぞれの項目に五個の小項目があります。小項目に「①できていない②あまりできていない③概ね出来ている④出来ている」の四段階で答えその点数を集計して評価するというものです。

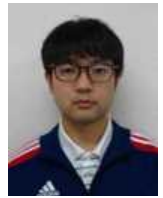
令和四年度からは支援、事務、医務、給食、グループホームに分けて集計しています。比較的评价が低いのは「社会参加・地域連携に取り組んでいる」という項目で、高いのは「権利擁護・虐待

防止に取り組んでいる」という項目です。入所施設はどうしても活動が内向きになり、加えて新型コロナで施設を閉じている期間が長かったことも、低かった項目には影響していると思われる。権利擁護の項目が高かったのは、地道に取り組んできた虐待防止のための日々の取り組みや研修が、次第に効果を上げてきているからだと思えます。部門間で差が大きかったのは「業務改善に取り組んでいる」という項目で、支援とグループホーム、給食では二、五ポイントの差がありました。業務改善のためのアンケートも毎年実施し出来ることから改善しているつもりですが、構成人員の少ない部門ではその恩恵があまり行き渡っていないということかと考えられます。

五年間の推移を見ると、少しずつですが点数が伸びてきている項目が増えています。これからもこのチェックリストを使って職員の小さな意見に耳を傾け、少しずつでも改善していければと考えています。



サービスの現場より



『苦情のなるほど』
茶山寮副施設長 飽田 一喜

前回の記事より一年ほど経ったでしょうか。多くの研修を通して、言語化できないものが徐々に理解できてきたところではあります。その中でのなるほどとなった研修の事例に、予測と結果の「ズレ」があります。例えば利用者や家族の予測（例…「こなら安全」と結果（例…大けがをした）がズレると生まれる苦情についてですが、苦情の内容に思わず笑ってしまう（例…一人だけパンにジャムを塗ってくれない）ことも、大きな「ズレ」になることが考えられます。身構えて聞くと（聞いた側には）なんてことなかった、という予測と結果の「ズレ」に思わず笑ってしまう。相手からすると苦情を申し出たのに何故か笑われた。苦情の対応に対する苦情が起こるメカニズムや、研修事例の文章で見かける態度の悪い職員というのは、こうして生まれるのだと感じました。私自身がズレた時に誠意を拾い直すには、どうするべきか。謝罪や事故の報告だけでなく「利用者・家族の皆様と日常的にコミュニケーションがとれているかにかかっている」とのことですので、初心忘れず話を重ねていこうと思った次第です。



『担当利用者への取り組み』
茶山寮支援員 吉永 聖

Kさんは入所されてから現在で八ヶ月ほど経ちました。まずKさんには茶山寮に馴れて頂き安心して過ごしてもらえようようにしていく事が大事だと感じました。その為には、不安感を取り除いていく事が必要だと考えました。不安にならないように日程の説明を行ってきました。ホールのホワイトボードを使い一日の予定を説明し、活動前などにはスマホを使いイラスト画像や動画を見てもらい、またジュエスチャーターも交える事で分かりやすくなるように工夫し説明を行ってきました。そして日々の日課と一緒に行動していく事で、多くの関わり合いを持ち信頼関係の構築と不安感の解消に努めてきました。又、日々の楽しみとなるような時間を提供する事も大事だと考え、週二回程お菓子タイムの時間を設けています。このように関わり合いを持ってきた事で、月日が経っていくにつれて少しずつ茶山寮に馴れてこられ、安心して過ごしてもらえようになつてきています。今では活動にもしっかり参加されており、掃除では床拭きを他の利用者さんと一緒に行つて下さっています。日々の笑顔も多く見られるようになってきました。これからもKさんが安心して楽しく茶山寮で過ごして頂けるように支援をしていきたいと思っております。



『担当利用者への取り組み』
第二茶山寮支援課長補佐 株野 勝

私が担当しているKさんの意思決定と、その関わりについてご紹介したいと思います。Kさんは、屋外での活動を特に好んでおられます。しかし、一年程前から、折り紙や貼り絵等で季節毎の花や食材を作る事にも興味を持たれるようになりました。そんなKさんが今年度の目標として“自分の作品を障がい者芸術展に出展する”という事を掲げられました。そこで、先ず本人と、どのような作品を作りたいのかを決める事から始めました。「プレスレットや、ストラップをビーズで作りたい」との意思表示があり、必要な材料を揃えて渡すと、熱心に取り組みされました。テグスの長さ・ビーズの色やサイズを組み合わせた事で、様々なプレスレットやストラップが出来る事を助言しながら、十月までに十個程完成する事が出来ました。コルクボードに完成した作品を貼り付け、十一月の芸術展に出展する事が出来ました。本人に寄り添い、意思を尊重し、一つ一つ形として実現していく事で、本人に喜びと満足感を味わって頂けると信じて、これからもKさんと共に歩んでいきたいと思っております。

『就労サポートセンターぴゅす様より』

グループホームはばたき・かなでの七名の利用者さんは一般企業の委託作業である海苔の陸上養殖の作業をされています。海苔を育てるところから商品化するまで複数の作業工程があり、それぞれの利用者さんの特性が生かせる作業配置をしています。細かい作業が得意な方は海苔の検品作業を行ったり、体力に自信がある方には外作業を行ったりと作業場所はそれぞれ異なりますが、それぞれの持ち場と連携することで一日の作業がスムーズに終わるよう心掛けています。

一人暮らしを目指されているMさんは、様々な作業工程を経験したい、技術面を学びたいのととで職員に質問、相談しながら細目にメモを取る等、目標に向け意欲的に取り組まれています。当初、挨拶、会話が苦手と言われていたTさんは、他者と協力し作業を行うことで報告や相談ができるようになり、今では笑顔で会話を楽しみ、自分の気持ちを言葉で伝えることができるようになりました。他五名の皆さんも朝礼時から一日の流れを把握し作業に取り組みたいとの気持ちが強く伝わっており真剣さが伺えます。利用者さん同士も仲が良く休憩中は笑い声が耐えない時間を一緒に過ごされています。これからも目標に向かって成長して頂くために、また、充実した一日を過ごしてもらえよう環境作りを行い、心に寄り添うサポートをしながらい、心から私たち支援員も成長していきたいと思えます。



『自立支援協議会の
取り組み』
荅山寮副施設長 鮎田 逸子

自立支援協議会は地域の課題を掘り起こしつつ、障がい者への支援体制を整備するために設立されている。会には障がい者施設以外に多くの団体が所属しているが、その中で障がい者のグループホームと入所施設は居住班を作っている。居住班では、昨年度からグループホームの利用者への満足度アンケートを実施し、利用者の声を吸い上げようとしている。また、今年度から入所施設の施設紹介資料の作成と施設見学を始めた。入所施設といっても知的と身体関係では元々交流が少なく、互いを知らないことも多い。しかし、地域の課題を明らかにしそれを解決するのは、一施設だけでは難しい場合が多い。施設同士ができることで協力し合えば、小さな力を大きな効果に繋げることができよう。また、他の施設を知ることによって自分の施設を振り返り、業務改善に繋げることもできる。十二月初旬までに十二施設中四施設が終了しているが見学者の感想は概ね良く、荅山寮の職員も大いに触発された面があったようだ。これからは少しずつ居住班の活動を進め、ひいては自立支援協議会が地域課題解決の母体となるようにしていく必要がある。



『献立作成について』
第二荅山寮栄養士
松崎 陽輝

今年度より栄養士として利用者の皆様に向けた献立作成を行ってきました。まだまだ経験不足な所もありますが、利用者の皆様の栄養状態、問題点、必要なエネルギー、栄養素量等々をケアしていきながら、第一に食に興味を持っていただけるように様々な工夫を行っています。今回は工夫の二点についてお話したいと思います。

一つ目は、聞いて美味しく見て美味しく食べて美味しく考えながら献立を作成していることです。聞いて美味しくとは、料理をする過程を理解し、感じ、楽しむこと。見て美味しくとは、色合いや形、盛り付け方や質感です。こちらに関しては給食職員全体で取り組んでいます。食べて美味しくとは文字通り味や口に入れた時の触感や香りです。栄養量の限られた中での味付けではありますが、その中でも美味しく食べて頂けるように献立作成を行っています。

二つ目に、リクエストメニューを伺い、月に十品から十五品ほどのメニューを取り入れて献立作成を行っていることです。自分のリクエストしたメニューが献立に記載され、食べる喜びはとても大きいと思います。これからも食を通じて支援に励んでいきたいと思えます。

苓山寮・第二苓山寮・グループホーム旅行

感染症対策で実施できていなかった旅行が4年ぶりに開催されました。苓山寮は県内での1泊2日、第二苓山寮では鹿児島県での1泊2日、グループホームでは大分県～長崎県での2泊3日の旅行でした。参加された利用者の皆さんは出発する前から「～に行くよ」と楽しみにしている様子でバスに乗り込んでからも会話が弾んでいました。それぞれ観光地を巡られ、旅館では美味しい料理を沢山食べる事ができ大満足な旅行となりました。



苓山寮[熊本市、上天草方面]



第二苓山寮[鹿児島方面]



グループホーム[大分、長崎方面]



創立記念56周年

11月16日

今年は感染症対策が緩和され、苓山寮・第二苓山寮合同で行う事が出来ました。始まる前から女性利用者さんはおしゃれをしたり、お化粧をしたりとても華やかに着飾っておられ「綺麗ですね」の声掛けに満面の笑みでニコッとされたのが印象的でした。式が始まると皆さん静かに聞いておられ出し物になると大きな声で「もみじ」を熱唱されました。フラダンスサークルの方達も日々の練習の成果を出し皆さん頑張って踊って笑顔も見れました。ボランティアでお越し下さった方々の大正琴演奏では、皆さん一緒に「ふるさと」の曲を大きな声で歌われとても盛り上がりました。久しぶりに合同で楽しむ事が出来きて笑顔溢れる良い創立記念日になりました。



創立記念日
の昼食は豪華
な手作りのお
弁当でした。



みなさん良い表情です(*^o^*)



♪ボランティアの皆さん、素敵な演奏を披露していただきました♪



職員による出し物(*^o^*)v



＜新職員紹介＞



岩崎 博和さん

(苔山寮支援員)

優しいさと笑顔を忘れず一歩一歩頑張ります。

よろしく
お願いします!

第三一回本町ふるさとまつり

十一月二三日にコロナ以降四年振りの開催となった本町ふるさと祭りに参加してきました。久しぶりのふるさと祭りでしたが、開始早々沢山の人出で賑わいを見せていました。施設の出店ブースにも沢山の方にお越し頂き、ありがとうございます。

販売物については初物の乾燥椎茸、クリスマスリース等の手芸品、コーヒーを出させて頂きました。コーヒーはエスプレッソマシンを新規導入しました。挑みましたが、うまく作動しないといったトラブルもあり、旧式のもので対応する事となりました。しかし、販売に参加した利用者さん、職員と協力して私達も楽しい雰囲気の中、地元開催のふるさと祭りへ参加する事が出来ました。



＜おみやみ＞

堤佳子さん

五五年という長い間、苔山寮で過ごされました。素敵な笑顔が印象的な佳子さんでした、心よりご冥福をお祈り致します。



日常生活の風景



上田 到さん

八月二四日に入所されました。職員とは気さくに会話をしてくださり、時には冗談を言って笑わせてくださいます。活動では外歩行によく参加され、職員と一緒に歩かれたたくさんお話しをしてくださいます。これからも元気に楽しく過ごして頂ければと思います。



里信之さん

野菜作りが大好きな里さん。今の時期は陶芸

棟裏の畑を借りてブロッコリーを作っておられます。先日、一緒に様子を見に行く「大きくなつとる」と野菜の成長をとても喜んでおられました。収穫がとても楽しみです。又、里さんはフラダンスサークルにも参加されています。月一回の活動で一生懸命練習し行事等で披露する事でご本人のモチベーションに繋がっています。

＜行事予定＞

十二月

二二日 クリスマス会
二六日 餅つき
二九日 御用納め

一月

元日 初詣
四日 御用始め
八日 成人の日
九日 鬼火焚き
十日 配置医来寮



＜編集後記＞

朝晩の冷え込みが厳しく手足がかじかむ季節になりました。ここ本町は山々に囲まれ天草の中でも一際寒い地域です。私は本町の福岡地区に住んでいます。朝中々起きる事が出来ません。これから、まだまだ寒くなっています。皆様体調にお気を付けて良い年末を迎えましょう。



よいお年を!